

EALAI 研究セミナー第6回

座談会記事はなぜ批判されたのか ——〈女・子どもの文体〉の成立と定期刊行物 における〈声〉の位置づけ

5月29日(木) 12:10-13:00

会場：駒場キャンパス国際教育研究棟314会議室（対面のみ定員50名）

オンライン：Zoom(事前登録制) 登録リンクURLは[こちら](#)です。



発表者 前島 志保
(総合文化研究科教授)

現在、印刷媒体やインターネットには、談話体・対話体・会話体のコンテンツがあふれている。しかし、20世紀前半、談話記事や座談会記事は女性向け雑誌（婦人雑誌）に特徴的な「流行」とみなされ、揶揄されていた。なぜ、口頭の談話を再現した形の記事は、女性向けの媒体と結び付けられ、批判の対象となったのだろうか。本発表では、記事に用いられた文体に着目し、その成立と展開について考察する。

司会 月脚 達彦（総合文化研究科教授）

